

10月のびびり

消防の仕事を経験

10月2日、はやきた子ども園の園児による幼年消防クラブが消防署安平支署で行われました。

この事業は、消防連携事業の一環で行われるもので、消防隊員による降下訓練の見学や放水車からの放水、煙が充満した部屋で歩行訓練などを体験。

今回の体験で、消防隊員の凄さや火事の怖さを学べたのではないだろうか。



勝利を目指し真剣勝負

10月4日、早来中学校体育館で安平町バドミントン大会兼ゴーセン杯争奪バドミントン大会が開催され、町内外から46名が参加。4つのコートに分かれ、白熱した勝負が繰り広げられました。

点を取っても取られても、どこか楽しそうな表情を浮かべながらプレーする参加者の様子は、爽やかにスポーツの秋を楽しみむ様子が伺えました。

将来を考える機会に

教育委員会の仕事を知ってもらい、働くことの意義や将来を考える機会として実施している一日教育長体験。今年10月9日に、追分高校3年の中崎凌さんが一日教育長となり、書類の確認や町有施設の見学、イベントへの出席などを体験しました。

今回の体験について感想を聞いてみると「全てが新鮮な経験だった。将来に活かしていきたい」と話してくれました。



管内で収穫の新米贈呈

10月9日、JAとまこまい広域から安平町に対し、厚真町、むかわ町、安平町の胆振東部3町で生産・収穫された新米のたんとうまい（ななつぼし）100キログラムが贈呈されました。

町内の幼稚園や小中学校で1日に消費されるお米はおよそ72キログラム。この新米は、11月10日に給食で振る舞われます。たくさんお米を食べて、元気いっぱい成長して欲しいですね。

152名が完走

10月12日あびらパワフルデー「林間マラソン・ウォーキング大会」が開催され、マラソンやウォーキング、クロスカントリー駅伝に総勢152名が参加。

スタートから笑顔で走り出す子どもを追いかける保護者の姿も見られ、ゴール時点では、少々疲れた様子。「大勢で走るとペースが上がるし、息も上がる」と日ごろ練習の甘さを実感した方もいるようでした。

